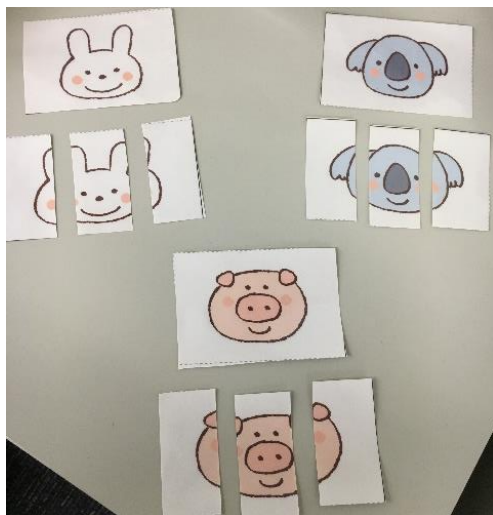


教材名	動物ペアカード	
自立活動の区分	人との関わり方の勉強: 相手を意識する。ルールやマナーを身に付ける。 コミュニケーションのとり方の勉強: 気持ちや考えを伝える。	
教材のねらい	自分の欲しいカードを、相手に伝えることができる。	
使用した学年	小学部6年生	
教材・教具の写真		
		
使用方法		
・基本、児童3名のグループで使用。 ・見本の動物カードと、カードを3等分したもの3ピースを配る。 ・配られた見本と同じ動物の顔を完成させたらゴール。友達に「〇〇のカードを下さい」と言い、友達から手渡してもらうか、「いいよ」と言われてから取る。 ・トランプのババ抜きの要領で、時計回りに順番を進める。 ・3人とも動物の顔が完成したら終了。		
教材の有効性（おすすめポイント）		
・「相手の了解を得てから物を手に取る」という経験が、ゲームを通して積み重ねられる。 ・ほどよくルールがシンプルで、ルールを覚えやすい。		
教材の工夫や改善点		
・初めはルールを覚えるために教師が介入しながら進め、ルールの理解にしたがってできるだけ子どもたちだけでゲームを進行させる、という配慮が必要。 ・カードを4等分したり、教師がゲームに参加したりすれば、参加人数を調整できる。		
備考（材料・参考資料など）		
・動物のイラスト、ラミネートフィルム ・参考文献: 特別支援教育をサポートするソーシャルスキルトレーニング実践記録集		
おすすめしたい学年	小学部高学年、中学部、高等部	